

## FM いずのくに 番組審議委員会議事録

実施日時：令和4年11月4日(金) 14:00～15:25

実施場所：葦山文化センター リハーサル室1

出席委員：土屋氏、和田氏、内山氏、佐野氏、久保田氏

事務局：佐口社長、神田

### 1. 審議番組について

「病院と！みんなの談話室」について

久保田氏

- ・健康診断の必要性を感じられた、診断後の再診については本人の意思が最重要になってくるというのを再認識した
- ・番組の内容はとてもよかった

土屋氏

- ・健康というテーマであれば市民の関心を惹くことができるであろうというきっかけから始まっている
- ・学校の音楽発表会等を放送し市民がもっと興味をもってもらうものが必要であろう

和田氏

- ・市民の健康を守るという観点で重要なコンテンツであると感じた
- ・自然な会話でスムーズに話していて聞きやすかった
- ・リスナー目線でのトークがされていてわかりやすかった
- ・移住の支援の話が聞けてよかった

内山氏

- ・番組コンセプト、タイトルと番組内容に相違ないものと感じた
- ・ストレスなく聞くことができた
- ・担当パーソナリティのファシリテーションがよかった
- ・病院の先生とゲストだけの会話に限らず会話が広がっていてよかった
- ・音量に波があったり、話し出しが突然だったりすることがあった
- ・リスナーからのメッセージを募集するコメントが最初にしかなかったので、また後半にも宣伝を入れたほうがよい

- ・ゲストの選定方法は？

→病院の先生はもちろん、医療や介護に限らずに患者様なども含めた方をゲストに迎える  
予定です

- ・病院内で番組の告知がされている

佐野氏

- ・医療から行政や移住の話へと膨らんでいってとてもよかった
- ・自分自身のことのように聞くことができた
- ・声の重なりとか、声のボリュームが突然大きくなったりしたところが気になった
- ・市民に対してもっと聞いてもらえるような取り組みをしてもらいたい

## 2. その他ご意見

- ・ラジオ可聴範囲が狭いので広げるということもおって考えてほしいが、レディモでも  
っときいてもらうための広告・宣伝をしたほうがよい

## 3. FMいずのくにの立ち位置について

佐口社長から配布した資料を基に説明

資料1 FMいずのくにの立ち位置の明確化と「災害時の緊急放送に関する協定書」改定

資料2 放送内容の改善

- ・地域を元気にするラジオという目的のものはじまっている

今までFMいずのくにと市長と話ができなかったことが今までの問題であった

交通情報は建設業協会としっかりとした協定を結べれば工事の情報を提供ができる

→土屋さんに合意がとれるような方法を一緒に考えてできるように進める、危機管理課と  
建設業協会、FM3社で合意がとれるようにする

区ごとに市民に発信する枠が過去にあったがなくなってしまったのを再度行ってもよい  
のではないか

次回1月23日（月） 14:00～ 会場は決定次第各委員へ通知